
Express5800 R120h-1M/R120h-1M(2nd-Gen)/R120h-1M(3rd-Gen)
R120h-2M/R120h-2M(2nd-Gen)/R120h-2M(3rd-Gen)
R120h-1E/R120h-1E(2nd-Gen)/R120h-1E(3rd-Gen)
R120h-2E/R120h-2E(2nd-Gen)/R120h-2E(3rd-Gen)
R110j-1M/ R110j-1/R110j-1(2nd-Gen)
T120h/T120h(2nd-Gen)

iStorage NS300Ri/NS500Ri/ NS500Rj

iLO5 ファームウェア：バージョン 2.18 へアップデートされる際の事前確認 (ご案内)

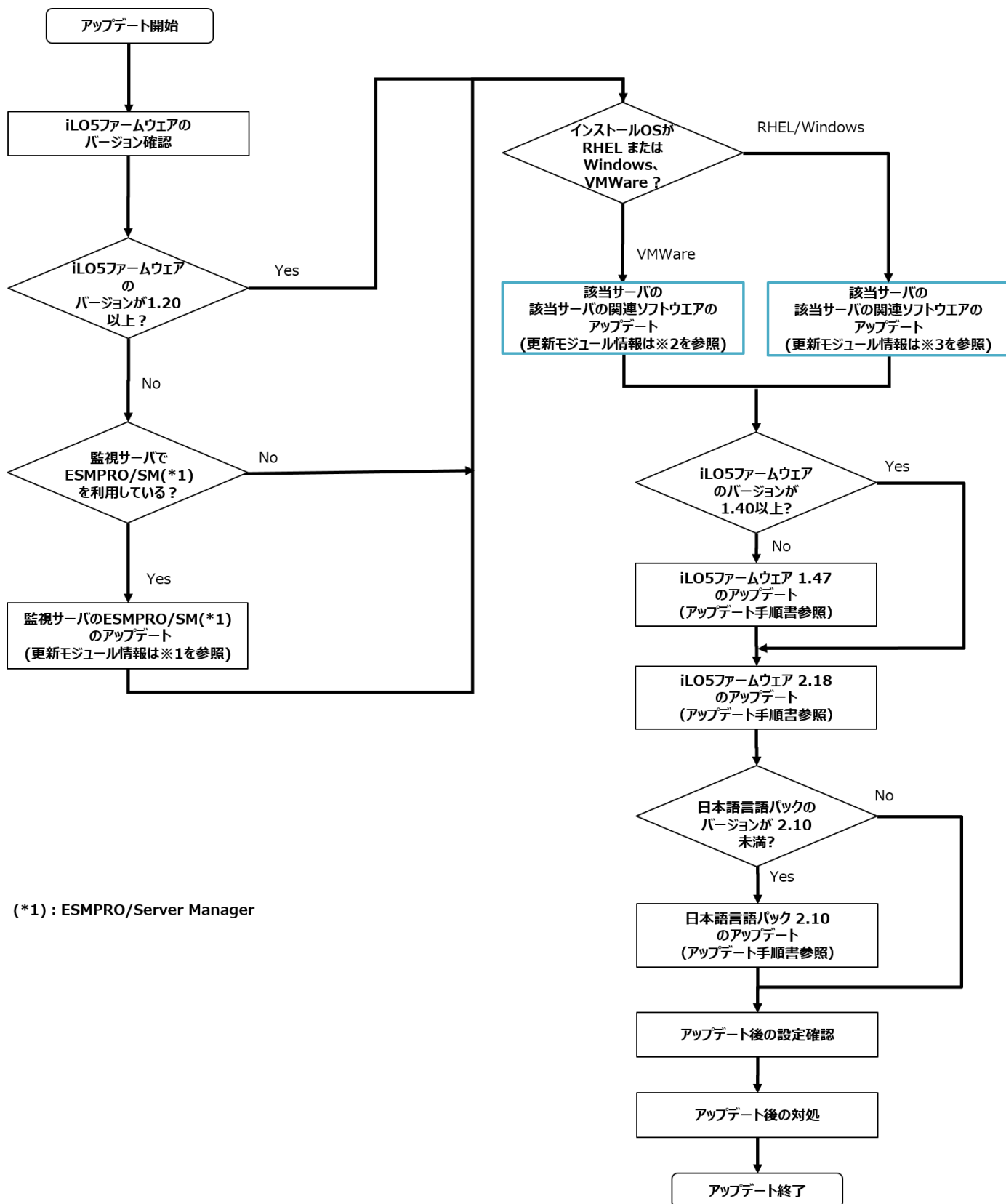
日本電気株式会社

2020 年 7 月

iLO5 ファームウェア：バージョン 2.18 のアップデートを実施される前に、以下のフローに従って、必要な確認および
対処を行ってください。

- お客様のご利用サーバの iLO5 ファームウェアのバージョンの確認。
- 監視サーバで ESMPRO/ServerManager をご利用されている場合の事前対処。
- お客様のご利用サーバの OS に応じた事前対処。

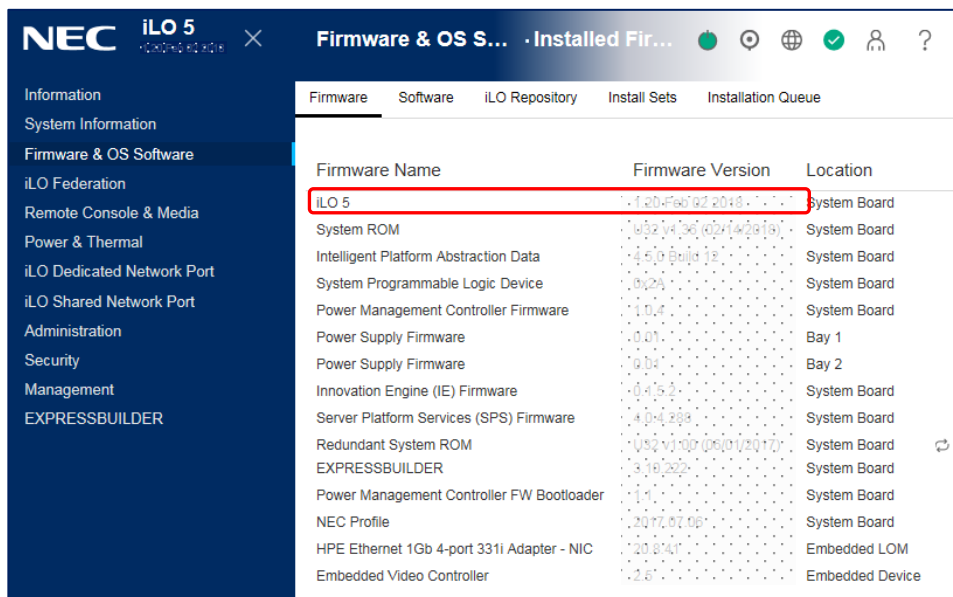
バージョン確認方法や、対処が必要となった場合の更新モジュールの入手情報、およびアップデート方法の詳細情報は、
2、3 ページをご確認ください。



【バージョン確認方法】

◆ iLO5 ファームウェアのバージョン確認

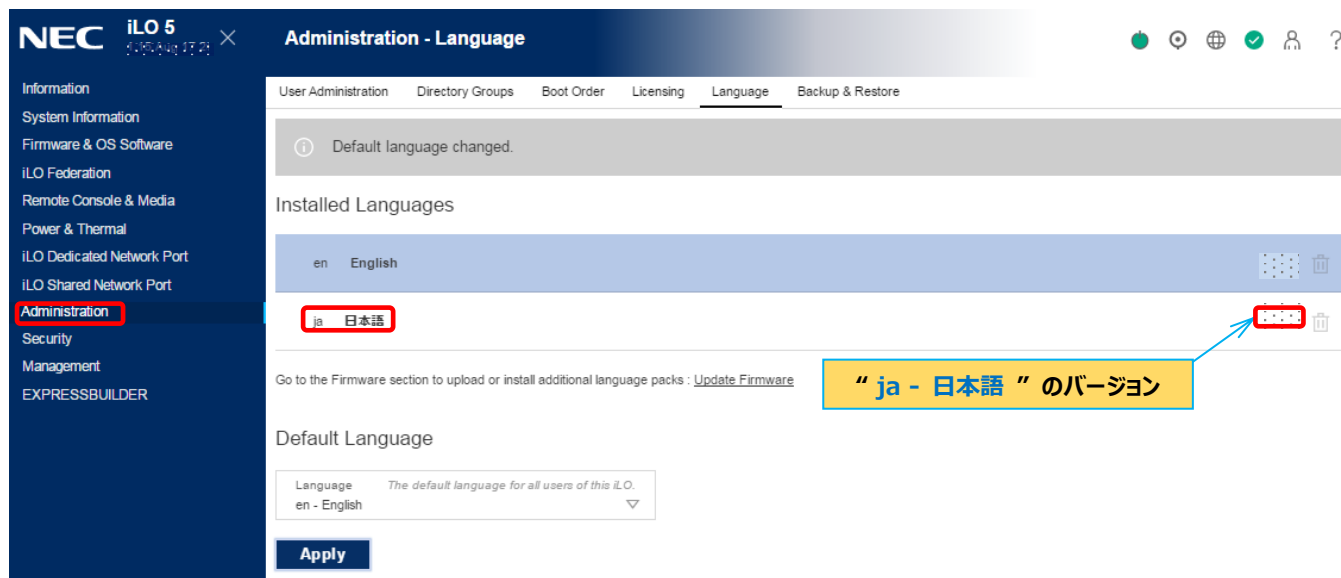
- (1) iLO Web インターフェースにログインします。
- (2) iLO Web インターフェース : 「Firmware & OS Software」 → 「Firmware」へと進みます。
- (3) iLO5 ファームウェアのバージョンの確認を行います。



Firmware Name	Firmware Version	Location
iLO 5	1.20.467.02.2018.11.11	System Board
System ROM	0.32.14.36.02/14/2018	System Board
Intelligent Platform Abstraction Data	4.5.0.0.0.18	System Board
System Programmable Logic Device	0.0.0.1	System Board
Power Management Controller Firmware	1.0.4	System Board
Power Supply Firmware	0.0.1	Bay 1
Power Supply Firmware	0.0.1	Bay 2
Innovation Engine (IE) Firmware	0.4.5.2	System Board
Server Platform Services (SPS) Firmware	4.0.4.208	System Board
Redundant System ROM	0.52.1.107.06/01/2017	System Board
EXPRESSBUILDER	3.18.202	System Board
Power Management Controller FW Bootloader	1.1	System Board
NEC Profile	2017.07.06	System Board
HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i Adapter - NIC	20.8.141	Embedded LOM
Embedded Video Controller	2.6	Embedded Device

◆ iLO5 日本語言語パックのバージョン確認

- (1) iLO Web インターフェース : 「Administration」 → 「Language」へと進みます。
- (2) iLO5 日本語言語パックのバージョンの確認を行います。



Default language changed.

Installed Languages

Language	Version
en - English	
ja - 日本語	1.20.467.02.2018.11.11

Go to the Firmware section to upload or install additional language packs : [Update Firmware](#)

Default Language

Language: en - English (The default language for all users of this iLO.)

Apply

“ ja - 日本語 ” のバージョン

◆ ESMPRO/ServerManager(Windows 版)のバージョン確認方法

- (1) ESMPRO/ServerManager にログインします。
- (2) 画面右上の「ESMPRO/ServerManager について」のリンクを選択します。
- (3) 表示される ESMPRO/ServerManager のバージョンの確認を行います。

【 更新モジュール情報 】

◆ ※1 ESMPRO/ServerManager(Windows 版)のアップデート方法

- (1) 以下より最新版の ESMPRO/ServerManager をダウンロードします。
<https://jpn.nec.com/esmsm/download.html>
- (2) 「ESMPRO/ServerManager Ver.6 インストレーションガイド(Windows 編)」の
「2 章 インストール」を参照し、ESMPRO/ServerManager のアップデートを行ってください。

◆ ※2 関連ソフトウェアのアップデート方法

[ご使用の OS が VMWare の場合]

下記のサイトをご確認いただき、Agentless Management Services(以下、AMS)と iLO Channel Interface Driver のアップデートを行ってください。

VMWare のバージョンによってダウンロードサイトおよびバージョンが異なります。

■ ご使用の OS が VMWare ESXi6.0 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108698>

バージョン - Agentless Management Service (600.11.4.5)
- iLO Channel Interface Driver (600.10.1.0)

■ ご使用の OS が VMWare ESXi6.5 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108878>

バージョン - Agentless Management Service (650.11.5.0)
- iLO Channel Interface Driver (650.10.4.0)

■ ご使用の OS が VMWare ESXi6.7 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108879>

バージョン - Agentless Management Service (670.11.5.0)
- iLO Channel Interface Driver (670.10.2.0)

[※3 ご使用の OS が Windows/RHEL の場合]

Starter Pack (Version S8.10-007.02 以降) を使用し、AMS と RAID 通報サービスのアップデートを行います。

なるべく Starter Pack (Version S8.10-007.02 以降) を使用して iLO ファームウェア以外の各種ファームウェア、および AMS、RAID 通報サービス以外の各種ソフトウェアについてもアップデートすることを推奨いたします。

AMS のアップデートは、Standard Program Package のインストールを行うことでアップデートされます。

詳細は、下記 Starter Pack のダウンロードサイトの【Windows の場合】/【Linux の場合】をご確認ください。

iStorage シリーズの場合は、【アップデート】をご確認ください。

RAID 通報サービスは、すでにインストールされたバージョンをアンインストール後、Starter Pack を利用して、Windows の場合は各種アプリケーションよりアップデートを行い、Linux の場合はターミナルからスクリプトの実行を行います。

詳細は、Smart Storage Administrator ユーザーズガイド¹の「Starter Pack からインストール」をご確認ください。

< Starter Pack について >

本製品で使用する Starter Pack は、以下 Web サイトに最新版が掲載されています。

Web に掲載されている内容を確認し、Version S8.10-007.02 以降を適用してください。

<https://www.support.nec.co.jp/>

(「NEC サポートポータル内検索」で、「S8.10-007.02」を入力して検索してください。)

¹ Smart Storage Administrator ユーザーズガイドは、「NEC サポートポータル内検索」から対象のモデル名を検索し、「製品マニュアル」をクリックし、「ユーザーズガイド」のページに移動してから「Smart Storage Administrator ユーザーズガイド」をクリックすることで参照できます。

- RAID 通報サービスの個別アップデート手順

以下の手順に従って、インストール済みかどうかを確認します。

- Windows の場合

[コントロールパネル]-[プログラムと機能]において、[RAID Report Service]が存在しており、以下の確認ファイルがあればインストールされています。

<確認ファイル>

C:¥Program Files¥RAID Report Service¥server¥version.txt

※インストール時のインストールフォルダがデフォルトの場合

- Linux OS の場合

以下のようにして RAID 通報サービスの RPM パッケージがインストールされていることを確認します。

以下のように表示されれば、インストールされています。

例: # rpm -qa | grep raidsrv
raidsrv-1.00-0.x86_64

RAID 通報サービスのアップデート手順に関しては、以下を参照してください。

- Windows の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108459>

- Linux の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108460>

最新版へアップデートする際は、既にインストールされているバージョンを一旦アンインストールした後に、最新版 (Revision 3682) をインストールしてください。

詳細は、Smart Storage Administrator ユーザーズガイド²の「Web からダウンロードしたモジュールからインストール」をご確認ください。

- AMS の個別アップデート手順

AMS のみを個別でインストールする際は、以下の手順を参照しアップデートを行います。

- Windows の場合

Starter Pack のダウンロードサイト内の【Windows の場合】の(7)を参照してください。

- Linux の場合

(1) 現在、AMS がインストールされているバージョンを確認してください。

例: # rpm -qa | grep amsd
amsd-1.4.0-3066.82.rhel7.x86_64

(2) 旧バージョンの AMS(1.4.2 未満)がインストールされている場合、AMS を一旦アンインストールしてください。

例: # rpm -e amsd-1.4.0-3066.82.rhel7.x86_64

² Smart Storage Administrator ユーザーズガイドは、「NEC サポートポータル内検索」から対象のモデル名を検索し、「製品マニュアル」をクリックし、「ユーザーズガイド」のページに移動してから「Smart Storage Administrator ユーザーズガイド」をクリックすることで参照できます。

(3) Starter Pack をマウントした後に packages 配下のご使用の OS のメジャーバージョンに対応する以下のいずれかの RPM パッケージを作業ディレクトリにコピーしてください。

- RHEL6.x の場合:amsd-1.4.2-1166.3.rhel6.x86_64.rpm
- RHEL7.x の場合:amsd-1.4.2-1166.3.rhel7.x86_64.rpm
- RHEL8.x の場合:amsd-1.4.2-1166.3.rhel8.x86_64.rpm

例: # cp /run/media/root/SPP5500/packages/amsd-1.4.2-1166.3.rhel7.x86_64.rpm /tmp

(4) RPM パッケージをコピーした作業ディレクトリに移動して以下のように AMS をインストールしてください。

例: # rpm -ihv amsd-1.4.2-1166.3.rhel7.x86_64.rpm

(5) 作成した作業ディレクトリを削除してください。

(6) 以下のコマンドを実行して AMS(amsd)が起動されていることを確認してください。

例: # ps -ef | grep amsd | grep -v grep

```
root      14395      1  0 19:32 ?          00:00:00 /sbin/amsd -f
```